

源氏物語講座

- 講座番号① 紫式部の帰京と藤原宣孝との結婚、そして夫との死別
- 道隆一族の没落と道長娘影子女宮の入内などの時代背景と紫式部 -
日時:5月18日(土)
講師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会場:研修室1・2
講座番号② 紫式部の物語の評判と中宮彰子への女房としての出仕
- 中宮彰子の懐妊による道長邸土御門殿での法華三十講 -
日時:7月27日(土)
講師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会場:多目的ホール
講座番号③ 道長の土御門邸における紫式部
- 中宮彰子懐妊による女房たちの動静 -
日時:9月28日(土)
講師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会場:多目的ホール

歴史講座

- 講座番号① 明治初期における西条陣屋の変遷について
日時:7月7日(日)
講師:平井 誠(当館学芸員)
会場:研修室1・2
講座番号② 城絵図から見る大洲城の変遷
日時:8月17日(土)
講師:白石 尚寛氏(大洲市立博物館)
会場:多目的ホール

古文書講座

- 講座番号① 「巡見使関係文書を読む①」-今坊村久保家文書より-
日時:5月26日(日)
講師:安永 純子(当館学芸員)
会場:研修室1・2
講座番号② 「巡見使関係文書を読む②」-今坊村久保家文書より-
日時:6月23日(日)
講師:安永 純子(当館学芸員)
会場:研修室1・2

考古講座

- 講座番号① 松山市有形文化財掩体壕の発掘調査成果について
日時:6月1日(土)
講師:鶴久森 彬氏(松山市教育委員会)
会場:多目的ホール

受講時のお願い
●感染症の拡大状況により、日程・内容が変更・中止となる場合があります。
●講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

民俗講座

- 講座番号① 石垣・石積みの魅力 -宇和海沿岸部の段々畑-
日時:6月15日(土)
講師:岡崎 直司氏(近代化遺産活用アドバイザー)
会場:多目的ホール
講座番号② 絵図・古写真等から見た愛媛の四国遍路
日時:9月29日(日)
講師:今村 賢司(当館学芸員)
会場:多目的ホール

体験講座

- 講座番号① 史跡めぐり「重要伝統的建造物群保存地区 津島町岩松」
定員30名 日時:5月19日(日)9:00~16:00
締切 4/22(月) 講師:岡崎 直司氏(近代化遺産活用アドバイザー)
参加費:5,000~6,000円程度(予定)
講座番号② 史跡めぐり「卯之町の町並みを歩く -宇和の歴史・文化-」
定員30名 日時:6月2日(日)10:00~12:30
締切 5/6(月・振休) 講師:大本 敬久(当館学芸員)
参加費:1,000円(予定)
講座番号③ Bigドーナツを作ろう!
定員20名 日時:8月4日(日)13:30~15:00
締切 7/5(金) 講師:上田 球乃氏(TAMANO ART CLASS)
参加費:1,000円(ドーナツ1つ分)
会場:研修室1・2
講座番号④ 多肉植物の寄せ植え
各回 日時:9月14日(土)10:30~12:00
定員8名 13:30~15:00
締切 8/16(金) 講師:城之内 あに一氏(あにちゃん農園 代表)
参加費:3,000円
会場:研修室1・2
講座番号⑤ 中国茶体験講座
各回 日時:9月16日(月・祝)10:00~11:30
定員8名 13:30~15:00
締切 8/16(金) 講師:中井 花美氏(白花音 オーナー)
参加費:3,500円程度
会場:研修室1・2
講座番号⑥ 水引でつくる花ブローチ
定員50名 日時:9月23日(月・祝)13:30~15:00
締切 8/23(金) 講師:有高 智佳代氏(有高扇山堂 専務取締役)
参加費:1,100円
会場:研修室1・2

申込方法 当館HPの講座申込フォーム・お電話からお申し込みください。
お問い合わせ 企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

展示スケジュール 2024.4-2025.3

Calendar table showing exhibition dates from April 2024 to March 2025. Includes special exhibitions like 'Osamu Harada: Finding "KAWAII"' and 'Sanrio Designer Exhibition'.

ご利用案内

開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
休館日 月曜日 第1月曜日は開館、翌火曜日が休館。(下記カレンダーをご参照ください)
観覧料 区分 一般 団体(2割引)
大人(高校生以上) 540円 440円
小・中学生 無料 無料
65歳以上 280円 230円
新常設展 観覧無料

Museum Calendar 2024.4-6 showing dates for events, closed days, and temporary closed days for April, May, and June.

愛媛県歴史文化博物館 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE
管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】http://www.i-rekihaku.jp
●発行日 令和6年3月31日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館 No.117 歴博だより Museum of EHIME History and Culture News



【時間】9:00~17:30(入場は17:00まで)
【休館日】4月22日(月)、30日(火)
5月7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)
6月4日(火)、10日(月)
特別展観覧料 大人(高校生以上):1100円(850円)
65歳以上:700円(500円)
小・中学生:600円(450円)
※( )は20名以上の団体料金。
※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

考古 **がきわん 瓦器椀**

出土地：松山市松環古照遺跡  
年代：13世紀  
サイズ：中央 = 口径15.6cm、器高5.2cm  
所蔵：当館保管



瓦器は素焼きの土器を焼いたもので、11世紀半ばから14世紀半ば、主に近畿や四国北東部、九州北部で生産されるようになり、西日本を中心に流通します。器形は平安時代の間底部が広い椀から小さな椀の形に変わっていき、規格性をもった椀と皿の組み合わせが確立します。

瓦器椀は、須恵器より軟質で素地に隙間が多く、焼き締めがあまり良くないため、薪を節約して短時間で焼成した粗悪な

焼き物と考えられています。しかし、このデメリットを補うかのように、器面の磨きを丁寧に行い、光沢が出るよう仕上げられています。

中世の村落と考えられている松環古照遺跡(松山市南江戸)からは、11世紀後半から12世紀の土師器椀が多く出土しましたが、13世紀半ば以降のものはみられません。一方、それに代わるように12世紀後半から13世紀前半の瓦器椀(和泉型瓦器椀)が豊富に出土しており、大阪府中南部で生産されたものが、当地に搬入されたと思われる。瓦器椀は13世紀後半には、高台が形骸化し、やがて消失しますが、本資料は高台がなくなる直前の時期のものです。

金属器・漆器等の高級食器に似た光沢をもちつつ、安価で大量生産された瓦器椀は、人々の目をひきつけ、およそ300年間で役目を終えることとなりました。

(専門学芸員 亀井 英希)

テーマ展「似ている、ちがう?—出土品から歴史を考える—」で4月7日まで展示しています。

歴史 **吉田藩の御座船の難破記録**

年代：明和6(1769)年  
法量：33.5cm×23.5cm  
所蔵：当館蔵



襖や屏風の下張りとして古文書が使われていることがあります。そうした古文書を剥がしてみると、思わぬ発見につながることもあります。本資料もそうした一例で、吉田藩に関する次のような内容の古文書が含まれていました。

明和6(1769)年3月23日、吉田藩の御座船が、参勤交代で大坂に向けて明石沖を進んでいたところ、南東からの暴風と荒波により操船できなくなります。そこで仕方なく大碇を海に下ろして船を繋ぎ止め、藩主の伊達村賢はわずか7人の藩士を連れて鯨船に乗り移り、明石藩の御船手の町になんとか上陸しました。

この事故を受けて、明石藩からは番人が出て水主が住む一軒まで案内してくれて、村賢はようやく腰かけて休むことができました。しばらく様子を窺ったものの、波はさらに高くなっていきます。そこで船による往来を諦め、村賢一行は山陽道沿いの大蔵谷宿の本陣に移って宿泊。翌日は陸路で大坂に向かいました。

下張りの古文書からは、「板子一枚下は地獄」といわれるように、江戸時代の船による参勤交代が常に危険と隣り合わせであったことがうかがえます。

(学芸課長 井上 淳)

※「吉田藩の御座船の難破記録」は、特別展「瀬戸内海ツーリズム」で4月7日まで展示しています。

令和6年度 特別展 **原田治展「かわいい」の発見**  
**Osamu Harada: Finding "KAWAII"**

1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS(オサムグッズ)」の生みの親、原田治。

50~60年代のアメリカのコミックやTVアニメ、ポップアートなどから影響を受けたイラストレーション——とりわけ、簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。



没後初の全国巡回展となる本展では、イラストレーターとして活躍する端緒となった、1970年代「an・an」の仕事をはじめとして広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に、幼少期から20代前半の初期資料やエッセイ集「ぼくの美術帖」関連資料も交えて展示し、時代を超えて愛される原田治の全貌に迫ります。

令和6年 **4/20(土)~6/16(日)**

【時間】9:00~17:30(入場は17:00まで)

【休館日】4月22日(月)、30日(火)、5月7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、6月4日(火)、10日(月)

特別展 観覧料

大人(高校生以上)：1100円(850円)  
65歳以上：700円(500円)  
小・中学生：600円(450円)

※( )は20名以上の団体料金。

※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

**ゴールデンウィークイベント**



**キラキラ★ドラゴントラップをつくろう**

5/3(金・祝)~5/6(月・振休)

時間/10:00~11:30  
13:00~15:30

定員/午前・午後先着50名

会場/こども歴史館

参加費/600円(友の会500円)



**わくわく恐竜迷路**

5/3(金・祝)~5/6(月・振休)

時間/10:00~11:30  
13:00~15:30

定員/無し

会場/エントランスホール

参加費/500円

令和6年  
5/3(金・祝)  
5/6(月・振休)



**いざ出陣!!  
よるい武者にへんしん!**

5/3(金・祝)~5/5(日)

時間/10:00~11:30  
13:00~15:30  
受付は9:30~、最終受付15:00

定員/先着50名

会場/オリエンテーションコア  
(展示ゾーン内)

参加費/常設展観覧券が必要

**れきはくのアシあと**

特別展「瀬戸内海国立公園指定90周年記念 瀬戸内海ツーリズム」の関連ワークショップとして「レトロ紙バッグをつくろう」を開催しました。特別展で展示している資料の画像を印刷した紙やカシメなどを使い、本格的でレトロな紙バッグを作るワークショップです。

お子さんが体験されることが多い歴博のワークショップでは珍しく、体験された方のほとんどが大人の方でした!お友達やご夫婦で作られる方が多く、皆さん童心に返って楽しく作っていただけたようでした。もちろん親子で作られる方もおり、作業時間が約1時間のワークショップでしたが、最後まで集中し協力しながら作られていました。

今後も様々な年齢層の方に楽しんでいただけるワークショップを考案してまいります。展示はもちろん、ワークショップのみのご来館も大歓迎です!皆様のお越しをお待ちしております!

